

長野県森林づくり県民税(森林税) 県民アンケート調査結果について(速報値)

1 調査概要

(1) 調査方法

- ・ 地域：長野県全域
- ・ 調査対象：長野県内在住の満18歳以上の者
- ・ 調査対象者数：3,000人
- ・ 抽出方法：層化3段無作為抽出法
- ・ 配布・回収方法：郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成29年6月15日～7月11日

(2) 配布・回収状況

- ・ 配布数：3,000人
- ・ 回収数：996人
- ・ 回収率：33.2%

(3) 集計について

- ・ 四捨五入の有効数字の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 要求回答数を超える等、設問の要求形式に沿わない回答を無効とした。
- ・ 無回答・無効は、不明として表示した。

(4) 調査結果(概要)の内容

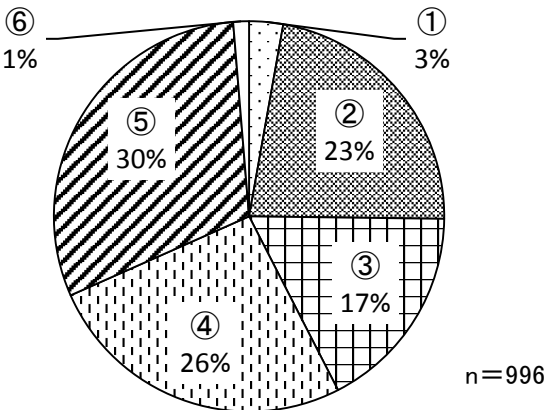
別紙のとおり

(5) その他

県民アンケート調査結果は速報値であり、今後、変動する可能性もある。

2 調査結果(速報値)

問1 森林税の認知度について

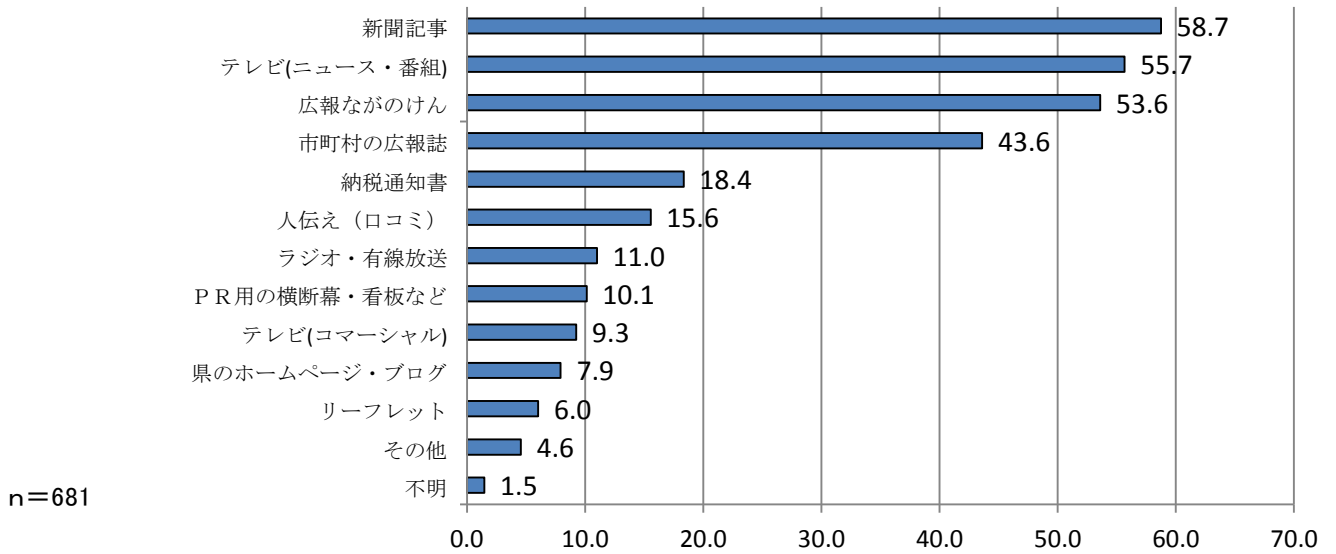


①名称、税額を知っており、使い道もよく知っている
②名称、税額を知っており、使い道もある程度知っている
③名称、税額は知っているが、使い道はよくわからない
④名称は知っているが、税額や使い道はよくわからない
⑤名称、税額、使い道ともに知らない
⑥不明

問2 森林税について見聞きしたことがある広報媒体(複数回答可)

グラフの数値は、項目を選んだ人数の割合であり複数回答可とした。

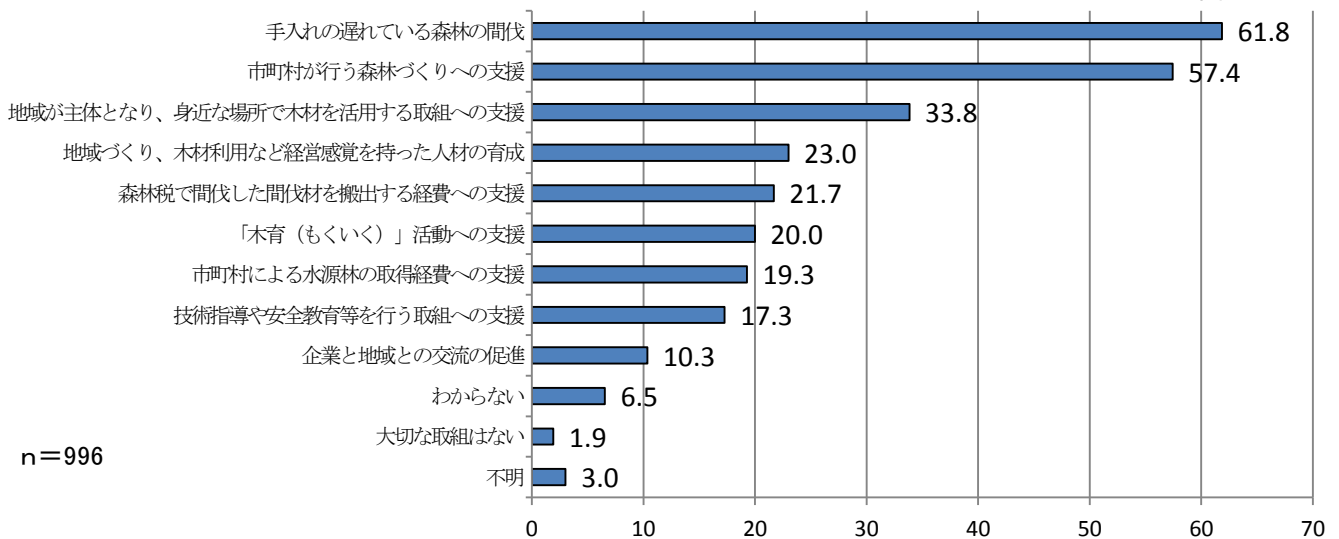
単位: %



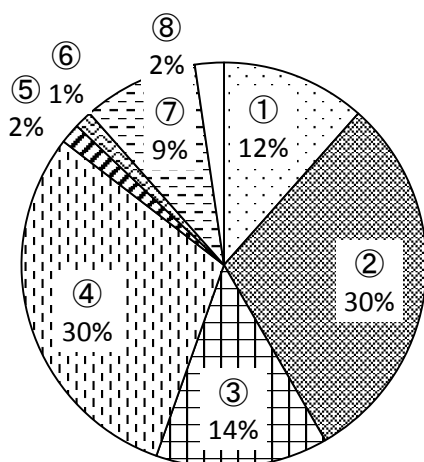
問3 森林税を活用した取組について

グラフの数値は、項目を選んだ人数の割合であり複数回答可とした。

単位: %

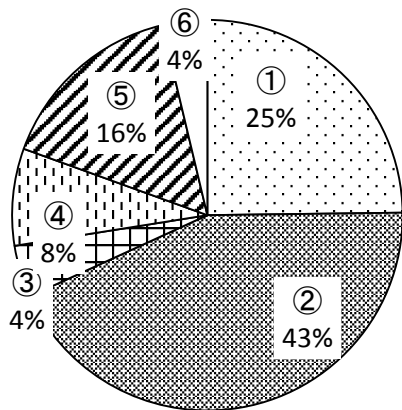


問4 森林に対する関心について



- ① 関心は高まった
- ② どちらかといえば関心は高まった
- ③ 変わらない(もともと関心は高い)
- ④ 変わらない(関心は低いまま)
- ⑤ どちらかといえば関心が低くなった
- ⑥ 関心が低くなった
- ⑦ わからない
- ⑧ 不明

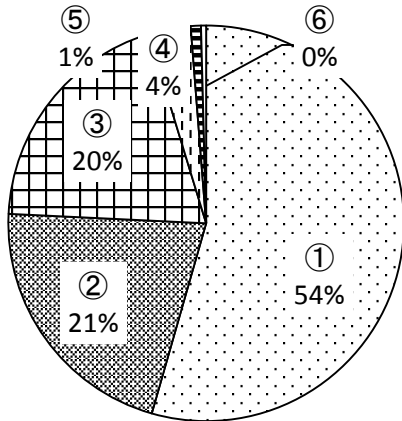
問5 森林税の継続について



n=996

- ①現在の取組内容のまま継続すべき
- ②現在の取組内容を継続するとともに、新しい取組内容を加える
- ③全く新しい取組内容として継続すべき
- ④継続すべきではない
- ⑤わからない
- ⑥不明

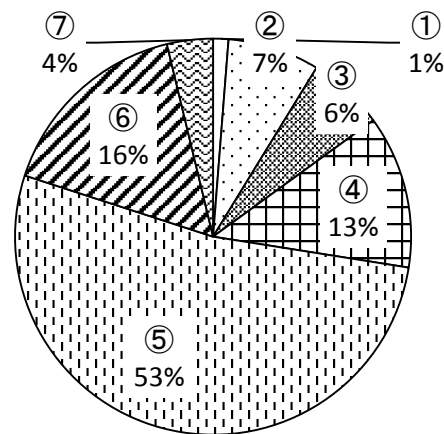
問6 森林税を継続すべき理由について



n=722

- ①森林には、洪水・土砂災害・地球温暖化の防止など大切な働きがあるため
- ②森林づくりは、継続的・定期的に行う必要があるため
- ③県内には、整備が必要な森林が、まだ多く存在するため
- ④これまでの森林税で、対応していない課題があるため
- ⑤その他
- ⑥不明

問7 森林税を継続すべきでない理由について(問5で④の回答した方)

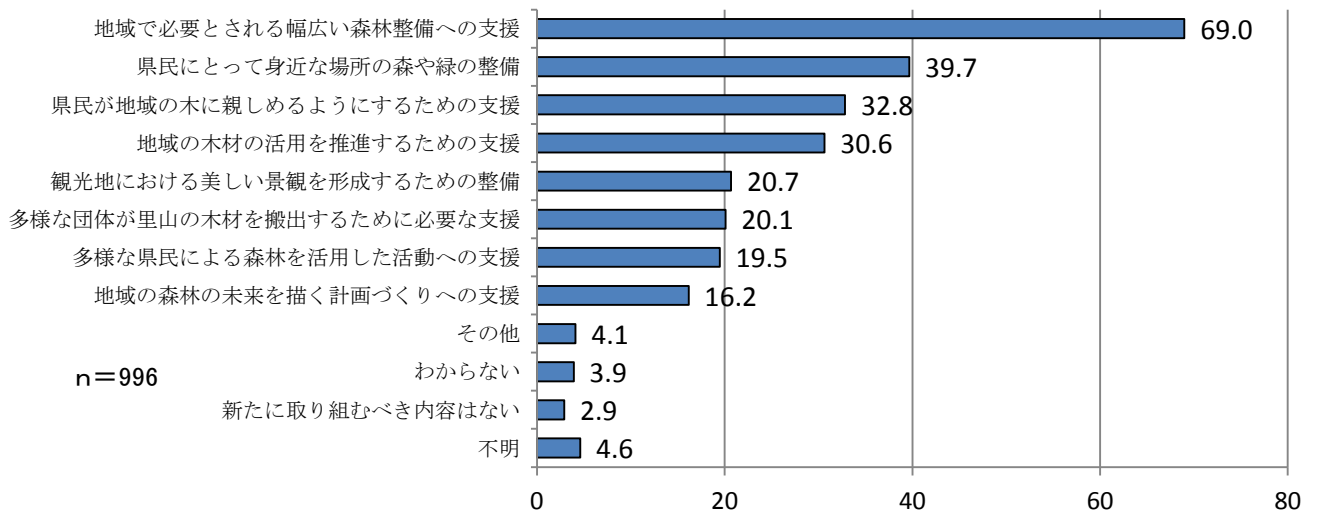


n=80

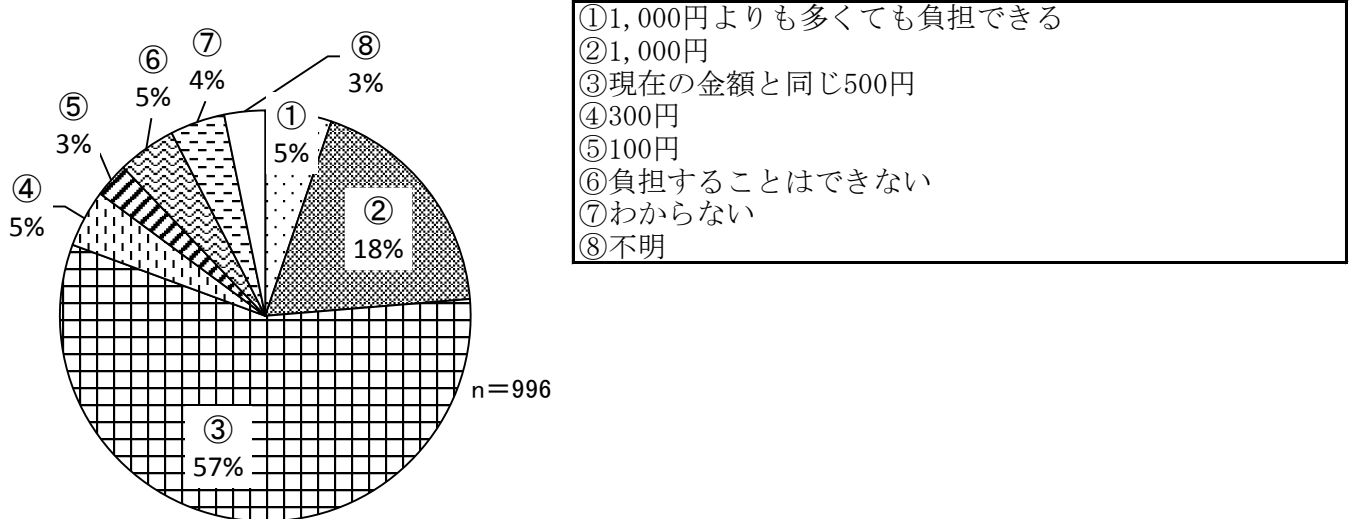
- ①これまでの森林税の取組で、森林づくりが十分に進んだため
- ②森林づくりは、森林所有者が行うべきであるため
- ③国でも森林環境税を検討しているなど、税の負担(金額、期間など)が大きいため
- ④県の予算配分を見直すなど、森林税以外の財源を森林づくりに使用すべきであるため
- ⑤これまでの森林税の使い道や、取組の効果が分かりにくいため
- ⑥その他
- ⑦不明

問8 森林税を継続した場合の取組について

グラフの数値は、項目を選んだ人数の割合であり複:



問9 森林税を継続した場合の金額について



問10 森林税を継続した場合の期間について

